要件への適合確認書（長寿命型　様式６）記入例

採択された共通ルール（具体的取組内容）は必須条件です。
具体的取組み内容は全て記入し、対象住宅がこれらの内容に適合していることを確認してください。

＜長寿命型　様式6＞

1戸の対象住宅につき1枚のシートを作成してください。2戸以上の対象住宅について申請する場合はシートを追加して作成してください。

要件への適合確認書（交付）【補助金申請者記入用】

・対象住宅の建築主

建築主氏名	◆田　■郎、◆田　●子

↑ 姓と名の間は文字を空けて記入してください。複数の場合は「、」で区切ってください。
売買契約による住宅の場合は「売買」と記入してください。

・採択された要件の確認（1）～【地域材】

使用する（予定の）地域材	記入不要

※採択された地域材のうち、対象住宅で**使用する（予定）地域材**を記入してください。

↑ 適用申請書 様式2-1のA欄に記載の地域材の名称、産地、認証制度等の名称のうち使用する（予定の）ものを記入してください。　※行が足りない場合は、この様式を複数枚作成してください。

【様式3】に記載した認証制度等の名称と同じであるか確認してください。

適用申請書様式2-1A欄に記載した地域材の名称、産地を正確に記入してください。

・採択された要件の確認（2）～【グループの共通ルール】

地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		共通ルール
オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与	①地域材利用に関する共通ルール（必須）	記入不要
	②地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	
	③標準的な地域材の使用部位（必須）	

適用申請書 様式3-3の「4.地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み」欄に記載の共通ルールを記入してください。

適用申請書様式3-3の「具体的取組内容」欄と同じように記入してください。
記入箇所違い、誤記、具体的取組内容以外の記載、等の間違えが多いので注意してください。

・グループ事務局の確認

今回、補助金交付申請を行う対象建築物について、採択要件（共通ルール）に適合していることを確認いたしました

グループ事務局担当者名	確認欄	申請事業者代表者名	確認欄
優良　二郎	○	長持　住夫	○

対象住宅について、共通ルールが適合していることを確認した場合は確認欄に「○」を記入して下さ

対象住宅について、共通ルールが適合していることを確認した場合は確認者と確認欄に「○」を記入してください。

・対象住宅の要件の確認～【住宅の省エネルギー技術に関する講習】

対象住宅に関わる講習会の修了（予定）者の区分　（次のいずれかに「○」）					
○	（1）対象住宅の施工者		（2）対象住宅の設計者	○	（3）対象住宅の工事監理者

注）この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【H28】長寿命型　要件への適合確認書（交付）

省エネ講習会の修了者、または修了予定者が対象住宅に関わる区分に○を付けてください。区分が決まっていない場合は、関わる予定の区分に○を付けてください。

使用する様式は正しいですか。
【H28】長寿命型と記載されている様式を使用してください。

ここに○を必ず記入して下さい。施工者の参加は必須です。